

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

## ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 1 中高一貫教育の特性を生かした特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもった生徒を育成する。
- 2 基礎・基本の確実な習得とともに、応用力、判断力、想像力を育む質の高い学習活動を推進する。

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わえる授業による基礎学力の定着
  - (1) 生徒の学力の底上げと、自己学習力育成の強化
    - ・学習意欲の個人差に応じた個別指導や、学習サポート体制の充実を図る。
    - ・夏季講習や定期テスト前の指導等の充実を図り、生徒一人ひとりの学習内容の定着と苦手分野の克服に資する。
    - ・新入学、進級時の学習方法のガイダンスの充実を図る。
- 2 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の授業による学習意欲の向上
  - (1) 様々な体験活動を取り入れた特別活動（学校行事、生徒会活動、部活動、学級活動など）の更なる充実を通して、生徒同士の温かな人間関係づくりと豊かな心の育成に努め、学び合いの雰囲気高める。
  - (2) 学習形態を工夫した授業（協働学習・異学年学び合い）、ICTを活用した授業の充実を図る。
- 3 体験活動を重視し、日本文化を大切にするとともに豊かな国際感覚と広い視野をもった生徒の育成
  - (1) 教科横断的な視点をもって、国際理解をテーマとする総合的な学習の時間、グローバル・スタディ、音楽の充実を図る。
  - (2) 生徒の夢と高い志を育み、その実現に向けた生き方指導・キャリア教育の充実を図り、学習意欲につなげる。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 ○学校の学習課題の在り方や取り組ませ方を工夫し、生徒が自分のペースで復習や発展学習に取り組むことができるようにした。それによって自己学習力の向上とともに達成感を得られた生徒もいた。
  - 夏季講習は異学年が一緒に学べる講座を設定して、生徒が復習や発展を選択して学習することができた。
  - 市学習状況調査の「家で計画を立てて勉強している。」の質問に対して肯定的な回答をした割合がどの学年も市平均を10%以上上回り、学年が上がるにつれてその割合が高くなっている。全国学力・学習状況調査においても全国平均を20%以上上回っている。
- 2 ○教育活動全般において人権教育上の視点をもって学習活動や学習形態を設定し、学び合いの姿勢が身についてきた。
  - 授業の工夫においては『よい授業』アンケートにおいて授業スキルのポイントが0.3上がった。
- 3 ○サマーイングリッシュセミナーやオーストラリアへの海外フィールドワークでは積極的に取り組み、体験活動や交流で日頃の学習の力を生かしていた。
  - ピアアドバイザーとして高校の教員や高校生を講師に招いて話を聞くことで、生徒は中学校でやるべきことが明確になり、学習方法や生活のリズムを見直すきっかけとなった。